

「ぬまたみらいわくわくアリーナプロジェクト」基本方針の具申



「ぬまたみらいわくわくアリーナプロジェクト」とは、老朽化が進む町民体育館の再整備を契機として、町の公共施設全体の再編、中心市街地の再生、そして町の将来像を総合的に検討するもので、検討委員会では、町民の健康づくり、防災、文化、交流、観光など、多様な機能を統合した複合施設の必要性が強く共有されました。検討委員は委嘱を行った町内の関係団体11名で構成され、整備に関する基本的な考えを検討いただき、^{まつだかし}松田剛委員長から横山町長へ基本方針検討報告書の具申がありました。

新体育館は、既存施設の老朽化や財政制約、市街地空洞化を踏まえ、アクセス性や象徴性、にぎわい創出の観点から市街地での建設が最適とされ、スポーツ・文化・交流・福祉・観光・防災を統合した多機能で、バリアフリー化や耐震性を備えた現代的施設として整備すべき検討報告が示されたほか、利用しやすさや開かれた運営、複合化によるコスト効率化、財源確保策の検討も重要視されました。

中学校体育館は、耐震化や冷暖房設備整備等による延命が現実的とされ、学校施設と町民体育館との機能分担を明確化し、学校体育と地域スポーツの活動拠点とする整備が急務との報告がされました。

今後、町では具体的な検討を進め、町民皆様の合意形成を得ながら、検討を進めてまいります。



▲ぬまたみらいわくわくアリーナプロジェクト
基本方針策定検討委員会の様子



▲ぬまたみらいわくわくアリーナプロジェクト
基本方針の検討状況を報告していただきました。